

科目ナンバー	SEM-3-004-ky			科目名	課題演習Ⅱ(篠原)		
教員名	篠原 美登里			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	コミュニケーションの実態について基本的な事柄を理解する。そこから日常生活における諸現象の解釈に役立つ知見について研究し、その成果を論じ合う。						
到達目標	各自が自らの興味に従い、コミュニケーション・スキルを向上させる具体的な方法を見出す。						
「共愛12の力」との対応							
識見	自律する力			コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	演習。講義、発表、議論、卒業論文の研究計画書作成。学生は、各回の活動を行うために必要な準備(調査、発表のための資料・原稿の作成、発表後の議論の議題の検討・決定ほか)をして授業に臨む。授業中の議論には積極的に参加することが期待される。また、授業内外で学んだことを記録として残し、期末レポート作成に生かす。課題のフィードバックは、授業内外において、クラス全体および個人に対し、口頭またはコメントシートにて行う。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	コミュニケーション論を履修済みであること。※長期海外研修参加等、特別な事情がある場合のみ、課題演習Ⅰの履修登録までにコミュニケーション論の履修が済んでいなくても、卒業研究の履修登録までに済んでいれば可。						
アセスメントポリシー及び評価方法	(1)期末レポート50%(2)授業中の活躍(発言・発表など)50% 本講座の到達目標とする知識および能力がどの程度身に付いているかを評価する。						
教材	「よくわかる卒論の書き方 第2版」白井利明・高橋一郎 2013 ミネルヴァ書房 各人の研究テーマに合ったもの。その他適宜配布する。						
参考図書	・高橋順一ほか「人間科学研究法ハンドブック」ナカニシヤ出版・田中典子「はじめての論文:語用論的な視点で調査・研究する」春風社・末田清子ほか「コミュニケーション研究法」ナカニシヤ出版・小笠原喜康「新版 大学生のためのレポート・論文術」講談社現代新書・佐藤望ほか「アカデミックスキルズ第2版」慶応義塾大学出版会・田中幸夫「卒論執筆のためのWord活用術」講談社・澤田昭夫「論文の書き方」講談社学術文庫・石井一成「ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方」ナツメ社ほか適宜紹介する。						
内容・スケジュール	1.主要テーマ:コミュニケーションとは何か、対人関係とコミュニケーション、言語によるコミュニケーション、非言語によるコミュニケーション、コミュニケーションと性差、異文化間コミュニケーション、効果的なコミュニケーション、他人を動かすためのコミュニケーション、メディアとメディア・リテラシー、接客場面のコミュニケーションなど。2.スケジュール※各回の授業で、前半は(1)後半は(2)を行う。(1)卒論の書き方(※講義)①卒論とは何か②ゼミでの学び方③論文の書き方④パソコンの使いこなし方⑤文献の集め方⑥研究の進め方⑦卒論の書き進め方⑧研究の方法(2)発表および議論①準備(題材探し→調査→発表のための資料・原稿の作成→発表後の議論の議題の検討・決定ほか)※題材は、学生が自分の興味関心に合ったものを選ぶ。②発表・議論③まとめ						

Number	SEM-3-004-ky	Subject	Junior Specialty Seminar II		
Name	篠原 美登里 (Shinohara Midori)	Year and Semester	Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	Students will understand the basics related to the actual situations of communication. Then, they will study research findings that would help them interpret various events in everyday life, and discuss those findings in class.				